



プレスリリース

2013 年 2 月 28 日

ザイリンクス、バックホール アプリケーション向けにギガビット クラスの 適応型ポイントツーポイント マイクロ波モデム IP の提供を開始

28nm All Programmable FPGA と API ソフトウェアによる
1024QAM マイクロ波モデム IP ソリューションが
次世代のインテリジェント ブロードバンド ワイヤレス ソリューションに対応

ザイリンクス社(本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、NASDAQ：XLNX)は 2 月 20 日 (米国時間)、バックホール アプリケーション向けにギガビット クラスの 1024QAM ポイントツーポイント (PtP) マイクロ波モデム IP コアが新たに利用可能になったと発表した。このモデム ソリューションは大手 OEM からの豊富な情報提供に基づき、ザイリンクスの 28nm All Programmable デバイスを活用して開発されたもので、ワイヤレス OEM 企業が、コスト面の要件が厳しく高いパフォーマンスが求められるマイクロ波バックホール プラットフォームに差異化された柔軟なプログラマブル機能を組み込める可能性が大幅に高まる。

モバイル ブロードバンド トラフィックの急激な増加にともない、通信事業者はネットワークのアップグレードを進めており、モバイル バックホールは全世界の通信事業者の資本支出において極めて重要な領域となっている。このチャンスを活かすため、OEM 企業は開発サイクルを短縮し、ハイ パフォーマンスでスケーラブルかつ柔軟なバックホール プラットフォームを迅速に市場に投入しようとしている。

ザイリンクスのワイヤレス通信担当シニア ディレクターであるスニール カー (Sunil Kar) は、「あらかじめ統合された PtP モデム ソリューション IP をザイリンクスの All Programmable ロジック回路 とエンベデッド プロセッサ SoC 上で利用できることで、OEM 企業は TCO (総所有コスト: total cost of ownership) と市場投入までの期間といった面で恩恵を受けられます。1024QAM モデム IP はハードウェアとソフトウェアのプログラマブル性の両面を活かして実現しているため、帯域幅が格段に優れた、低レイテンシで低消費電力の次世代バックホール プラットフォームの開発が可能になります」と述べている。

消費電力を 30% 低減し、ASSP ベースの製品と比べ合計 BOM (部品表) コストを最大で 30% 削減できる可能性を持ったワイヤレス ソリューションの開発を加速するために、OEM 企業が必要としているすべての機能と能力を、1024QAM モデム IP ソリューションは備えている。このモデムはポイントツーポイント屋外配備に打って付けであり、ギガビット イーサネットに加えてマルチプル E1/T1 や SDH といった従来のインターフェイスもサポートしている。データレートは単一偏波で 1 Gbps、偏波共用モードで 2 Gbps まで対応できる。位相雑音許容度が向上したため、機器のコストを最適化することができ、高次変調のメリットを現場で活かすことも可能になる。主な機能として、QPSK から 1024QAM までの変調のサポート、3.5~112 MHz のチャンネル間隔、アダプティブ変調、アダプティブデジタル プリディストーション、前方誤り訂正、I/Q インバランス補正、自動周波数回復、ハイブリッド決定志向イコライザ、統合ペイロード、コンフィグレーション インターフェイスなどが挙げられる。

1024QAM モデム IP ソリューションの核となるザイリンクス All Programmable [7 シリーズ デバイス](#)は、先進的な 28nm HPL (ハイ パフォーマンス、低消費電力) プロセス テクノロジーによって製造されており、抜群のパフォーマンス、容量、システム インテグレーションを実現しつつ、同時に価格、パフォーマンス、消費電力の最適化を達成している。

供給体制

1024QAM モデム IP ソリューションは、一部の顧客に直ちに提供され、一般向け発売は 2013 年 5 月を予定している。詳しくは、<http://japan.xilinx.com/products/intellectual-property/MBH-1024RS.htm> を参照されたい。

ザイリンクスについて

ザイリンクスは、All Programmable FPGA および SoC、3D IC の世界的なリーディング プロバイダーである。業界をリードするこれらデバイスを次世代設計環境および IP と共に提供することで、プログラマブル ロジックからプログラマブル システム インテグレーションまで、幅広いユーザー ニーズに応える。詳しい情報は、ウェブサイト japan.xilinx.com で公開している。

※ ザイリンクスの名称およびロゴ、Artix、ISE、Kintex、Spartan、Virtex、Zynq、Vivado、その他本プレスリリースに記載のブランド名は米国およびその他の各国のザイリンクスの登録商標または商標です。その他すべての名称は、それぞれの所有者に帰属します。

このプレスリリースに関するお問い合わせは下記へ

ザイリンクス株式会社 マーケティング本部 神保 TEL: 03-6744-7740/FAX: 03-5436-0532

株式会社井之上パブリックリレーションズ ザイリンクス広報担当 鈴木/関 TEL: 03-5269-2301/FAX: 03-5269-2305

下記のザイリンクス株式会社ウェブサイトもご参照ください。

- トップページ : <http://japan.xilinx.com/index.htm>
- プレスリリース (日本語) : http://japan.xilinx.com/japan/j_prs_rls/
- このリリースの全文は次の URL を参照のこと :
http://japan.xilinx.com/japan/j_prs_rls/2013/wireless/point-to-point-microwave-modem-ip.htm